

報道関係各位

2011年10月20日
ヴィーブヘルスケア株式会社

ヴィーブヘルスケア、HIVに関する取り組みを伝える グローバルサイト「ViiV Healthcare Effect」を公開

2011年10月11日 英国ロンドン発

ヴィーブヘルスケア（以下 ViiV）は、HIV 感染に関する世界中のコミュニティ活動を支援するポジティブ・アクション・プログラムに関する情報を提供するグローバルサイト「ViiV Healthcare Effect」（www.ViiVHealthcareEffect.com）を公開しました。

ViiV は HIV 領域に特化した製薬会社として、ポジティブ・アクション・プログラム^{注1}等を通じて世界中のコミュニティを支援してきました。社会的に立場の弱いグループへの補助金プログラム、母子感染の問題と取り組むための基金、各国の現地法人による地域助成金など、これらのプログラムはコミュニティによる HIV に関する偏見の問題への取り組み、教育の提供、変革の試みを直接支援するものとなっています。

「ViiV Healthcare Effect」はこうした取り組みとその効果についてお伝えする新たな手段となります。ここでは世界中の成功事例が紹介されており、問題に対する新たな解決策を生み出した方の話を音声ファイルで聞くことができます。またプロジェクトを活性化した話をビデオで見ることができます。このたび公開されたサイトでは、コンゴ、ドイツ、レソトの各国における現地のコミュニティのニーズに応えたプロジェクトについての記事をご覧ください。

ViiV は「ViiV Healthcare Effect」を通じて皆さんに私たちの取り組みを共有し、皆さんにはこのサイトでの音声や映像での体験を友人や同僚とさらに共有していただきたいと考えています。そして、こうしたつながりが強くなれば、私たちの取り組みはより大きな影響力を持つようになると考えています。

詳しくはグローバルサイト（英語）をご覧ください。 www.ViiVHealthcareEffect.com

以上

注1：ポジティブ・アクション・プログラム

1992年にグラクソ・スミスクラインがスタートし、ヴィーブヘルスケアに引き継がれたコミュニティ支援プログラムです。世界46カ国で、多数の草の根的な活動を続けるプロジェクトをパートナーとして、その活動を支援しています。特に革新的で価値のある活動や、既存のサービスや他のプログラムの対象とならない人々のための活動を優先的に支援しています。

ヴィーブヘルスケアについて

ヴィーブヘルスケアは、英国グラクソ・スミスクラインと米国ファイザーによって2009年に設立された、抗HIV薬に特化したスペシャリスト・カンパニーです。

日本においては2010年9月に両社が販売してきた抗HIV薬7品目の製造販売承認を承継し、自社MRによる情報提供活動を行っております。

<本件に関するお問い合わせ先>

ヴィーブヘルスケア株式会社 佐藤

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル

TEL: 03-5786-6043 FAX: 03-5786-6044